

<本年度会長テーマ> 『皆で手を取り合おう、DEIの下で』

例会日/毎週木曜日
会長/岡本 忠文

例会場/リーガロイヤルホテル広島
幹事/横手 裕康

Vol.610

2022年9月1日(木) 第1040回例会

3階 安芸の間

会長時間



本日より長月、9月のスタートです。9月は古くより夜長月と言われ、確かに1日1日、日暮れが早くなり、朝夕は秋の気配が感じられますが、最近は暑さがぶり返してきたようで、日中はまるで真夏のようなようです。

四季の感覚が薄れ、夏が長く、気が付けば冬になっているという亜熱帯地方に近付いているようです。その気候の変動と共に、日本の文化がどんどんと薄れていくように感じ、またそれが、これから育っていく子供たちのためにも些か大きな問題であると思っっているのは私だけではないと思います。

さて、本日のゲストは、先の参議院選挙で見事初当選をされた「三上えり」さんです。後程森本会員より、詳しくご紹介頂く事にいたしますが、私も三上さんはTSSアナウンサーの時代からよく存じ上げており、今日は卓話を楽しみにしておりますので宜しくお願い致します。

さて、話は変わりましたが、今月はロータリー特別月間「基本的教育と識字率向上月間」になっております。ロータリーでは、グローバル補助金をはじめとするリソースを提供し、すべての子供達の教育を改善し、子供と成人の識字率を高めるための活動と研修を支援しています。

全世界の子供達が初等教育を受けられるようにするには、あと170万人の教師が必用とされ、今なお5700万人の子供達が学校に通っていません。更に、16才以上の人口のうち7億8100万人は読み書き

ができないという現実があります。私は、この機会に「インターアクトクラブ」と協業し、世界の子供達への支援システムの仲間入りが果たせたらと考えております。今年度はアクションプログラムへの足掛かりができたなら良いと考えておりますので、インターアクト委員の方々宜しくお願い致します。

一方で世界では、ジェンダーが理由で教育を受けられなかったり、小さな商売をするための資金を得られなかったり、適切な医療を受けられないといった状況を抱えている人びとがいます。女兒や女性のエンパワメントのための活動をRI会長ジェニファー・ジョーンズ氏は今年度特に強調されています。「イマジンロータリー」として末永く続く好ましい変化をもたらすため、私たちが貢献できる世界をイマジンしていきましょう。

以上で会長時間を終わります。

「来賓卓話」

国会議員になるまでに～その声を国政へ～
参議院議員

三上 えり 様



参議院議員の三上えりと申します。多くの皆様のご支援により、先般の選挙を戦い、当選させていただきました。

私は、広島市中区で生まれ育ち、この春まで地元テレビ局で働いてきました。アナウンサーとして、多くの県民の皆様に出会い、交流を重ねてきました。また、報道記者として、社会や経済・政治の現場で取材をしてきました。TV局の仕事に責任を感じていました。しかしこの春、仕事を辞めて国政への挑戦を決断しました。なぜならば、取材を通して、たくさんの解決しなければならない課題があることを知ったからです。この経験が国政への挑戦を決めた動機のひとつです。

30年近く働いてきた中で2人の子育てや父の介護を経験して参りました。仕事と家庭の両立には様々な困難がありました。この困難を解決するためには、やはり政治の力が必要です。働くお父さんやお母さんの仕事と子育ての両立を図ること、誰もが自分が思い描く人生を過ごすことができる「より幸せにより新しい社会」を作っていくこと、その実現のために私は全力で取り組んでまいります。

そして、8月3日の臨時国会に初登院いたしました。改めて皆様から託された使命、「今の日本を変えていくべき」という想いを改めて心に刻み、25万9363票の重み、そしてこのバッジの重みを深く感じました。私は「政治は生活」だと思っています。皆様の声を集約し、その声を生活者目線、女性の視点で届けて参ります。物価高をはじめ働く者に大変厳しくなっている社会情勢を改善していくためにも、是非、皆さまの声をお聞かせいただくとともに、お力をお貸ししたいと思っております。これから6年間、ぜひ、皆様と一緒に歩ませていただきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

三上えり プロフィール

1970年6月、広島県広島市生まれ。広島県立井口高等学校卒業後、米国・バージニア州にあるサザンセミナーカレッジに留学。

NHKでのアシスタントを経て、1996年TSSテレビ新広島に入社。アナウンス部、報道局を経て2022年に退社。先の参議院広島選挙区において初当選。

二児の母。趣味はジョギング、温泉巡り。座
右の銘は「言葉には魂が宿る」



ニコニコ箱

¥23,000

累計¥127,000

会員記念日 (9月)

☆結婚記念月おめでとうございます

・山岡 稔会員 (S62.9.20.)

☆パートナー誕生日おめでとうございます

・山岡 稔会員 (知枝様：11日)

・大北 茂人会員 (妙子様：12日)

・道垣内 文夫会員 (聡子様：19日)

・三宅 恭次会員 (文枝様：27日)

☆入会月おめでとうございます

・岡本 忠文会員 (H23.9.1.)

・岡田 哲也会員 (R3.9.2.)

☆創業月おめでとうございます

・松岡 與吉会員 (㈱兼正冷熱工業：S51.9.1.)

お陰様で続いています。

・大北 茂人会員 (㈱チョーミ：S22.9.22.)

創業75年になりました。

☆岡本 忠文会員・横手 裕康会員

三上様、本日はありがとうございます。この度はご当選、誠にありがとうございます。本日の卓話、楽しみにしております。

☆奥芝 隆会員

三上さん、卓話を楽しみにしております。今後は森本さん共々、ご活躍を期待しております。



9月1日 (木)。

今日から9月。9月とは言えまだまだ暑い日が続くそうです。そして、季節の変わり目は特に体調を崩し易いので、皆さん充分気をつけてください。

さて、本日はゲスト卓話に、参議院議員の三上えり様にお越しいただき「国会議員になるまでに～その声を国政に～」と題してお話いただきました。

三上様は今年7月に行われた参議院議員選挙で初当選され、晴れて国会議員となられました。それ以前は元地放送局のアナウンサーとして活躍されていたので、テレビで何度もお顔を拝見していたこともあり、初めてとは思えない親しみ易さを感じました。

卓話の中で特に印象に残ったのは、被爆者である故大平数子さんの詩の朗読でした。私はこの詩を初めて知りましたが、とても感情豊かな朗読でその世界に引き込まれました。三上様は広島出身ということもあり、平和問題に関しては特に強い想いを持たれているようです。



広島出身者として、女性として、母親としてこれから様々な面で私たちの声を届けていただけることを期待します。

三上様、本日はありがとうございました。

来週の例会は休会です。その頃には少しは涼しくなっているといいですね。

(広報・会報理事 中村 富子)



9月1日(木) 第1040回

本日のプログラム

「来賓卓話」

国会議員になるまでに

～その声を国政へ～

参議院議員

三上 えり 様

幹事報告

1. BOX配布物

- ・ガバナー月信・ロータリーの友
- ・6/12に開催されましたIMの報告書

2. 例会変更

- ・広島陵北RC「創立32周年記念夜間例会・懇親会」
とき：9月14日(水) 18:30～ ※同日変更
ところ：リーガロイヤルホテル広島

3. お知らせ

- ・次週9/8は休会となっております。次回例会は、9/15となります。お間違えのないよう、よろしくお願いいたします。

出席報告 第1037回 8月4日

会員数 19名(内免除1名) 出席率83.33%

出席	13名	ご来賓	2名
欠席	6名	ご来客	0名
メークアップ	2名	ゲスト	0名

☆例会数:4回

☆クラブ出席率:88.89%

☆メークアップ対象の会合: 7/7 7月分定例会理事会 / 臨時理事会
7/21(木)クラブ協議会

No	氏名	7	14	21	29	%
1	青木 幹丸	◎	○	◎	○	100
2	道垣内 文夫	△	○	◎	○	100
3	八條 範彦	×	×	○	×	25
4	黒田 七郎	○	○	△	○	100
5	森本 真治	○	×	×	×	25
6	松岡 興吉	○	○	○	△	100
7	三宅 恭次	○	○	○	○	100
8	中村 富子	○	△	○	△	100
9	野村 裕芳	▲	▲	▲	▲	
10	奥芝 隆	◎	○	◎	○	100
11	大北 茂人	○	△	○	×	75
12	岡本 忠文	◎	○	◎	○	100
13	岡田 哲也	◎	○	◎	○	100
14	坂井 信教	△	△	○	△	100
15	谷 勝美	◎	○	◎	○	100
16	浮田 収	×	○	○	○	75
17	山口 洋充	◎	○	○	△	100
18	横手 裕康	◎	○	○	△	100
19	山岡 稔	◎	○	◎	○	100

◎:ダブル出席者 ○:ホーム出席者 △:メークアップ ×:欠席 ▲:出席免除者

2022年9月15日(木) 第1041回例会

3階 安芸の間

会長時間



本日は9月15日です。祝日法が改正されるまで「敬老の日」として固定された祝日でしたが、9月の第3月曜日に変更された後「老人の日」として記念日に制定されています。世界では2007年の国連総会で「International Day of Democracy」として記念日制定されています。民主主義の原則である、人権と尊厳が謳われています。RI会長ジェニファー・ジョーンズ氏のコンセプトポリシーである「D・E・I」に通じるものがあると考えております。是非この機会に「International Day of Democracy」をイマジンしてみてください。

さて、本日のゲストは、神戸学院大学現代社会学部、社会防災学科教授、中田 敬司様です。先生は、医学博士として、また災害医学の第一人者としてJICAを中心に国際的なご活躍をされております。多数の著書の出版や、TV出演なども多数熟されており、皆様もよくご存知では無いかと思いますが、詳細は、後程三宅会員より説明して頂きます。

中田先生、今日は卓話を楽しみにしておりますので、宜しくお願い致します。

ところで、話は変わりまして、前回の会長時間で申し上げましたが、今月はロータリー特別月間「基本的教育と識字率向上月間」になっております。ロータリーでは、グローバル補助金をはじめとするリソースを提供し、すべての子供達の教育を改善し、子供と成人の識字率を高めるための活動と研修を支援しています。

前回、この機会に「インターアクトクラブ」と協業し、世界の子供達への支援システムの仲間入りが果たせたらと考えていると申し上げましたが、その後、彼らは我々に先行し、アクションプログラムの一つを既に実行に移したということです。「ケニアの子ども達に絵本を届けたい!」と、アフリカの地域スポーツクラブ「A-GOAL」をハブに、社会課題解決プロジェクトを行っている一般社団法人のクラウドファンディングシステムを活用し、彼らが作った絵本を届ける活動を開始しました。

ケニアのスラム街にいる子供たちの就学の状況・識字率の低さを知り、そのような環境の子供たちにも、文字を読める喜びを知ってほしいという気持ちから、手作り絵本を届けるプロジェクトを実行しようと考えた様です。

実は、彼らがその想いに突き動かされたのは、2021年9月のことで、崇徳高校インターアクト部をはじめ、全国10校から100名以上の生徒が集まり、社会課題解決のためのアイデアを出し合う「SDGs放課後プロジェクト」に参加したことがきっかけだったそうです。

今後、RIとの関わり、財団との関わりが可能かどうか等確認し、広島安佐ロータリークラブとしての活動の方向性を決めて参りたいと思っておりますので、理事・インターアクト委員の方々宜しくお願い致します。

以上で会長時間を終わります。



「来賓卓話」

災害医療と新型コロナウイルス対応の 実際について

神戸学院大学現代社会学部

社会防災学科 教授 中田 敬司 様



我が国は1995年の阪神淡路大震災の教訓から、災害時における医療活動の検討が始まり、その反省に基づき1災害基幹・拠点病院制度 2急性期における災害医療体制 3広域医療搬送体制(SCU) 4広域災害救急医療情報システム(EMIS)が整備された。DMATもその中の一つで、災害急性期の医療活動を目的に組織され、亜急性期へ対応する各医療・保健対応団体へと引き継ぎ、シームレスな医療・保健活動を被災地に届けることを目指している。近年の東日本大震災・熊本地震などから、被災地内医療機関の状況や医療支援活動の事例を紹介する。

被災地内の病院では、CSCATTTの考え方に基づき、院内に災害対策本部を設置し、特人的資源の確保・物的資源の確保・病床の確保・その他(手術・分娩の可否や可能診療科などの現有資源及び能力の判断、搬送先の確保等)など、病院全体の現状を評価し、対応方針を決定していくことが求められる。そして、できうる限りの診療継続・機能維持を目指していく必要がある。

新型コロナウイルス対応も通常と比較してニーズと対応資源のバランスが著しく崩れていることから災害と同様の考えで対応を実施していくことが基本である。中でも広島市新型コロナウイルス感染症対策本部での活動や神戸市でのクラスター施設の対応事例、並びにコロナ禍での災害対応事例として、「熊本豪雨災害」を紹介しながら、今後の感染対策を含めた災害医療の在り方を考えていきたい。



ニコニコ箱

¥29,000 累計¥156,000

☆岡本 忠文会員・横手 裕康会員

中田敬司様、今日は、当クラブへようこそいらっしゃいました。会員一同、本日の卓話、大変楽しみにしております。よろしくお願いたします。

☆青木 幹丸会員

卓話ゲストの中田敬司様、ようこそお出で下さいました。お話を楽しみにしております。崇徳高校インターアクトクラブによる「ケニアの子どもたちに絵本を送る」プロジェクトのクラウドファンディングが始まりました。会員の皆様もご協力をお願いいたします。特にOBの八條会員、山岡会員は格別のご配慮をお願いします。

☆三宅 恭次会員

本日のゲスト、中田先生、実践に基づいた卓話、楽しみにしています。

膝の高さで歩くことができなくなり、1mで車が流される」そうです。つまり、「東日本大震災のような10m超えの大津波は怖い」という認識が広がっていることがとても危険だそうです。

「津波の高さ1メートルは、一命取る！！」駄洒落のようですがとても大切なことです。

「津波は1mでも危険！！」どうか皆さん覚えておいてください。

2週間前になりますが9月1日は「防災の日」でした。大正12年（1923年）9月1日に発生した関東大震災に由来しているそうです。

9月に入って日本列島を次々と台風が襲って来ます。今また台風14号の発生で、折角の連休が残念なことになりそうですが、皆さん安全を第一に考えて行動してください。レジャーはいつでも取り返せませす。私たちにできることは、一人ひとりが正しい知識をもって、適切に行動することだと思います。

次の例会でも、元気に皆さんと会えることを楽しみにしています。

(広報・会報理事 中村 富子)



9月15日（木）。

今日は、ゲスト卓話に「神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科教授で医学博士の中田敬司様」にお越しいただき、「災害医療と新型コロナウイルス対応の実際について」をお話いただきました。

中田様はJICA国際緊急援助隊(JDR)医療チームの総合調整部会委員・アドバイザー等を経て、NPO法人 HuMA常任理事・兵庫県学校防災アドバイザー・Japan Heart顧問等を兼任。国内外で活躍されています。

東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨・熊本豪雨の際は、災害他医療支援業務を実施。多くの災害現場で災害医療活動に従事して来られました。

災害医療活動と聞くと、現地で医療を施すことのように思いますが、中田様の任務は、災害現場で医療活動がスムーズに行えるようにするためのシステムづくりだそうです。

新型コロナウイルス発生初期段階で起こった2020年の「ダイヤモンド・プリンセス号」のクラスター。この時も未知のウイルス（コロナ）と戦う現場で活躍されたそうです。

私たちが暮らす日本は、阪神淡路大震災以降、東日本大震災等、実に多くの災害に見舞われて来ました。その度に、幾度となく立ち直れたのは、中田様たちのような現場を陰で支えてくださる方々がいてこそだと知りました。

東日本大震災では過去に体験したこともないほどの大津波に襲われ、私たちは10m超えの大津波の危険性を思い知りました。でも実際は、「津波は



9月15日(木) 第1041回

本日のプログラム

「来賓卓話」

災害医療と新型コロナウイルス対応の
実際について

神戸学院大学現代社会学部

社会防災学科 教授 中田 敬司 様

幹事報告

1. BOX配布物

- ・9月定例理事役員会の議事録
- ・「親睦夜間例会」のご案内
- ・休会のお知らせ(10/13)
- ・10月のプログラム

2. 例会変更

- ・広島東南RC「秋の新会員歓迎会」
と き：9月26日（月）※同日変更
ところ：ANAクラウンプラザホテル
- ・広島安芸RC「新会員歓迎夜間例会」
と き：9月27日（火）18:30～ ※同日変更
ところ：ホテルグランヴィア広島3F 天平

3. 休会

- ・9月20日（火）広島RC・広島安芸RC・広島西南RC
（西南RC以外メイクアップ受付有）
- ・9月21日（水）広島東RC・広島陵北RC
（両クラブ共にメイクアップ受付有）

4. お知らせ

- ・9/2に「青森県大雨災害支援」をクラブの奉仕会計より19,000円いたしました。
- ・9/4に「タイ女兒就学支援金」40,000円を広島日タイ友好協会へ寄付いたしました。
- ・北上和賀RCの8月分会報が届いておりますので、回覧いたします。
- ・次週9/22は休会です。

出席報告 第1038回 8月18日			
会員数 19名(内免除1名) 出席率83.33%			
出席	12名	ご来賓	0名
欠席	7名	ご来客	0名
メークアップ	3名	ゲスト	0名

2022年9月29日(木) 第1042回例会
3階 音戸の間

会長時間



本日は9月29日です。先月京セラ、KDDIの創設者であり、複写機の三田、JALの再建者であった稲森氏が逝去されました。稲森氏は、多くのフィロソフィと名言で、経営のあり方、経営のこころを私共に教示して頂いていただけにとっても残念です。

数あるフィロソフィの中で、ロータリー精神を常に意識されている言葉があります。”善きことを思い、善きことをするときには、天地が味方する。ということを生きていくのバイブルとしてこれまで歩んできた“という言葉です。私はこの素晴らしい人間性を心に刻んでいきたいと思っておりますし、皆さんも是非このフィロソフィをイメージして下さい。

さて、本日は、日本トリム広島支社の中浦 清正様に卓話を頂戴する事になっております。石川ガバナーより、本年度は月に一回健康に関する卓話を入れて下さいとプロポーザルがありましたので、本日のテーマは「習慣と予防」。健康に関する卓話となっております。詳細は、後程紹介者の横手幹事よ

り説明して頂きますが、本日も卓話を楽しみにしておりますので、宜しくお願い致します。

ところで、話は変わりまして、財団の七つの重点分野、RIの重点活動に非常に近い活動系が「2015年に国連が提唱したSDGs」です。「持続可能な開発目標」で2030年までに世界中の国々が達成に向けてとり組む17の目標を定めたものです。

17の目標とは、「陸上生態系」「海洋生態系」「水」「気候変動」等の環境問題。

「貧困」「飢餓」「健康」「教育」「ジェンダー平等」「エネルギー」「まちづくり」「平等と公正」「パートナーシップ」等社会に関わる目標。それらに支えられる形で、「働きがいと経済成長」「産業と技術革新」「製造する責任・消費する責任」「人や国の不平等の解消」という経済に関わるもので、トータル17の目標となっております。

このSDGsの目標を見ると「健全な環境と社会の土台の上で健全な経済活動を持続可能に営んでいくためには何にとり組むべきか」が解ります。

SDGsとは、経済活動を営んでいるすべての企業・組織・地域・社会が「自分たちにとっては何が課題なのだろう？何をすべきだろうか？」と考えてとり組む上での手引きになっています。即ちRI会長ジェニファー・ジョーンズ氏が熱く語る「イマジン」の世界なのです。

前回申し上げた様に崇徳インターアクトが識字率向上に向けてアクションプログラムを組み立てたのも、きっかけは、2021年9月のことで、崇徳高校インターアクト部をはじめ、全国10校から100名以上の生徒が集まり、社会課題解決のためのアイデアを出し合う「SDGs放課後プロジェクト」に参加したことからです。

我々も、SDGsの目標とRIの重点課題のマッチングが重要なタイミングに成っている事を深く認識し、行動を興す時が来ているのではないのでしょうか。

以上で会長時間を終わります。

表彰

道垣内 文夫会員
「マルチプル・ポールハリスフェロー+1」

「来賓卓話」
 習慣と予防～未来の健康づくり～
 (株)日本トリム 広島支社
 健康アドバイザー 中浦 清正 様



先ずはこの数字を見て下さい。
 昭和22年 男性50歳 女性53歳
 これは、この時代の日本人の平均寿命です。
 現在は100年時代に突入しました。つまり長生きが出来る時代です。
 なぜ、寿命が伸びたのか？
 今の私たちのような現代人は、医療技術の進歩もあり、病気や介護の状態で長生きの方が増えています。
 でも老化はしていきますよね？？
 老化の自覚症状は、30代は疲れ、40代は白髪、50代は老眼、60代はもの忘れがトップ。もの忘れは30代でも4割が自覚があります。
 老化が原因で起こる症状のうち、自覚しているもの(複数回答)を聞いたところ、各年代を代表する老化症状があることがわかりました。
 なぜ病気の方が増えているのか？？？
 生活習慣から病気になるケースが増加しています。
 悪い生活習慣はこんな言葉から始まります。
 めんどくさい、また今度やろう、から運動不足になり習慣がみだれていきます。
 悪い習慣を続けていくと、脳卒中、認知症 最悪は半身麻痺が起こります。
 問題なのは、健康な体に戻すことが難しいのです。
 折角の機会ですから早い段階から気づいて頂きたいのです。
 それには、習慣と予防とゆうことです。
 そこで家族と確実に予防を習慣する方法があります。
 それは、水を変えることです。
 しかも、飲むお水を変えるだけなので、簡単に、家族全員で予防を習慣化出来るのです。
 では、この水の特徴を実験付きで、皆様にお話します。



ニコニコ箱

¥5,000 累計¥161,000

- ☆岡本 忠文会員・横手 裕康会員
 中浦様、本日はようこそお越し頂きました。会員一同、心より歓迎いたします。本日の卓話、楽しみにしております。よろしく願いいたします。
- ☆青木 幹丸会員
 中浦様ようこそ、お話を楽しみにしております。崇徳高校インターアクトクラブのクラウドファンディングが、ペンギングラフィックスさんを最後に、しばらく膠着状態が続いております。10月には経過報告があると思っておりますが、会員の皆様のご理解、ご支援を宜しく願いいたします。
- ☆谷 勝美会員
 横手 裕康さん、経済レポート9月号で表紙に顔写真入りで「良いことしかない人生なんてつまらない」との一言拝見しました。ご立派！
- ☆横手 裕康会員
 9月20日発行の経済レポートの表紙に小生が掲載されました。



9月29日（木）。

今日は、ゲスト卓話に「株式会社 日本トリム 広島支社 健康経営アドバイザー 中浦清正様」にお越しいただき、「習慣で予防～未来の健康づくり～」についてお話いただきました。

皆さんご存知かと思いますが、人間のカラダの60%は「水」で出来ています。それだけ「水」は生命を維持する上で無くてはならない大切なものです。

私は普段、「水」についてあまり深く考えておらず、時々ミネラルウォーターを買って飲むか、水道水で済ませています。日本トリム様は「水」だけを40年間追求され、たくさんの論文も発表されています。

中浦様の卓話は、実験も交えた分かりやすく興味深い内容でとても楽しかったです。ただ、実験の中で「わあ～!!」と盛り上がるところが、一同（安佐RC）、感情の起伏が乏しくノリ遅れてしまいました。中浦様申し訳ありませんでした!!

近年、「健康経営」が重要視されていますが、従業員の健康増進のためには、「水」を見直すことが大切だそうです。様々な生活習慣病は、「習慣で予できる!」まずは、カラダにいい「水」を飲む習慣を身につけるべきですね。会社に1台「トリム」の「電解水素水整水器」を!!

中浦様、本日は貴重なお話をありがとうございました。お土産にいただいた「電解水素水」と「電解水素水で作ったやわらかいパン」も楽しみにいただきます。

そして、本日は道垣内会員の「マルチプル ポール ハリス フェロー+1」の表彰がありました。道垣内さんはじめ皆さんの功績に尊敬の念を示します。

明日で9月も終わりです。少しずつ秋の気配を感じる今日この頃。秋は「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」と楽しいことが盛り沢山です。

カラダにいい「水」とカラダにいい「習慣」で、健康で楽しい秋にしましょう!!

(広報・会報理事 中村 富子)



月の最後の例会は
「100万のドル食事」
今月はおにぎり御膳

9月29日（木） 第 1042 回

本日のプログラム

「来賓卓話」

習慣と予防～未来の健康づくり～
(株)日本トリム 広島支社
健康アドバイザー

係長 中浦 清正 様

出席報告 第1039回 8月25日			
会員数 19名(内免除1名)		出席率88.89%	
出席	15名	ご来賓	1名
欠席	4名	ご来客	0名
ミーティング	1名	ゲスト	0名

崇徳高校IAC募金	
9月分	
谷会員・松岡会員・奥芝会員・岡本会員	
合計	4,000円
総額	12,000円

広島安佐ロータリークラブ
2022年8月個人別出席一覧

☆例会数:3回
☆クラブ出席率:90%
☆ミーティング対象の会合: 8/4 合同クラブフォーラム
8/18 8月分定例理事会

No	氏名	4	18	25	%
1	青木 幹丸	○	○	○	100
2	道垣内 文夫	◎	○		100
3	八條 範彦	×	×	×	0
4	黒田 七郎	◎	○	○	100
5	森本 真治	×	○	×	33
6	松岡 與吉	◎	○	○	100
7	三宅 恭次	△	○	○	100
8	中村 富子	◎	×	○	66
9	野村 裕芳	▲	▲	▲	
10	奥芝 隆	◎	○	○	100
11	大北 茂人	×	○	○	66
12	岡本 忠文	◎	○	○	100
13	岡田 哲也	◎	×	△	66
14	坂井 信教	△	△	○	100
15	谷 勝美	◎	○	○	100
16	浮田 収	○	△	○	100
17	山口 洋充	◎	△	○	100
18	横手 裕康	◎	○	○	100
19	山岡 稔	◎	○	○	100